

定例会の概要

(会期 9月15日～10月6日)

開会日は、9月補正予算などが提案され、消費者庁等の徳島移転、地域独自の規制改革による地方創生、地震津波への防災・減災対策の推進などの重要課題について、所信が述べられた。代表・二般質問では、移住交流人口の拡大、とくしま帰郷の強化及び徳島ならではの人材育成等による地方創生の推進、建物の耐震化や自助・共助等による地震防災対策、県産農水産物のさらなるブランド発信、SNSを活用した観光誘客の推進等の観光振興策、幹線道路の整備促進、脱炭素社会の実現や自然エネルギー導入の推進等の環境施策などについて議論しました。

主な審議の結果

- 可決された議案**
 - 平成29年度補正予算
 - 一般会計(2件) / 補正予算額は74億8,584万1千円の増額で、補正後の予算額は4,941億7,105万7千円
 - 条例の改正(9件)
 - 徳島県の事務処理の特例に関する条例の一部改正 など
 - 負担金案件(7件) ● 契約案件(2件)
 - その他(1件)
- 可決された決議・意見書(3件)**
 - 北朝鮮によるミサイル発射及び核実験に抗議する決議
 - 道路財法における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書
 - 2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議

特別委員会の設置

- 普通会計決算認定特別委員会が設置されました。委員は次の9名です。(委員長)末木章生 (副委員長)岡田理樹 (委員)井川龍二、喜多宏忠、岡田理樹、西沢貞典、高井美穂、古川広志、長池文武
- 企業会計決算認定特別委員会が設置されました。委員は次の9名です。(委員長)木下功 (副委員長)丸若祐二 (委員)若佐義弘、原井敬、山西朗朗、岩丸正史、元木章生、庄野昌彦、遠田良子

議会トピックス

- 県内の中学生を対象に、夏休み中学生県議会体験会を実施し、講堂見学、議会活動の紹介、生徒と議員との意見交換会及び報告会を行いました。(7月28日)
- 徳島文理大学及び四国大学との包括連携協定に基づき、8月9日に5日間の日程で議会インターナショナルシップを実施しました。(徳島文理大学2名、四国大学3名の学生)
- 議決対象とした「徳島県教育振興計画(第3期)」の計画案案について、全議員勉強会を開催し、質疑・提言を行いました。(9月15日)
- 徳島県議会・徳島県議会芸術文化振興議員連盟主催で県立東高等学校部会による議会コンサートを開催しました。(9月15日)
- 四国大学との包括連携協定に基づき、各公募展において受賞した美術作品及び運動部の活動パネルの展示を行いました。

議員連盟の活動

- 2017年度外国人による徳島県日本語弁論大会が開催され、国際交流議員連盟が出席しました。(7月23日)
- 四国公共交通議員連盟が、次世代省エネルギー車両「HARMO」を開発した近畿車輛株式会社(大阪府)を視察しました。(8月1日)
- 医療・福祉関係議員連盟が、国民健康保険制度改革について勉強会を開催しました。(9月4日)
- スポーツ振興議員連盟が、第72回国民体育大会(愛媛県)を視察しました。(9月30日)
- 過疎対策推進議員連盟が、全国過疎問題シンポジウム2017(佐賀県)に参加しました。(10月19日、20日)

県議会の見学者等

- 西井川小学校(三好市) ● 白地小学校(三好市)
- 柿原小学校(阿波市) ● 新野小学校(阿南市)
- ナーサリ-富田幼児園(徳島市)

用語解説

- 【タンテーブル】** 首都圏における徳島の「食やライフスタイル」の発信と交流の拠点となる施設。東京都渋谷区神奈町において平成29年度中の開業を予定している。
- 【モービルICU】** 救急疾患の治療に必要な医療資材を備えた救急車。
- 【ZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)】** 室内環境の質を維持しつつ、大幅な省エネルギーを実現した上で、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、年間のエネルギー収支をゼロとすることを目指した建築物。
- 【IoT】** 「Internet of Things(モノのインターネット)」の略。自動車、家電、ロボットなどあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りにより、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すこと。
- 【ファトリップ】** 海外や都市部から旅行会社やメディアを招いて、地域の観光情報の提供や交流体験を通じ、旅行商品の企画や発信を促す観光プロモーション。

議会日程

平成29年11月定例会の日程(予定)

月	日	議案
11	21	常任委員会
	22, 24	特別委員会
	27	本会議(開会)
	30	本会議(代表質問)
	1	本会議(一般質問)
12	5-8	常任委員会
	11, 12	特別委員会
	15	本会議(閉会)

日程は予定であり、変更する場合があります。

代表・一般質問から

代表質問 阿波尾鷲のブランド強化と海外展開への支援を重清佳之

徳島県議会自由民主党

制の構築を促進すか。

答 民間の特長を生かした移住支援は阿波尾鷲に極めて有効。全国への積極的な発信とともに県内各地にも積極的に移住者受け入れ体制の強化を図り、移住者の人口増加の促進を図りたい。

問 学識経験者と連携し、各市町の立地適正化計画策定を支援する地域の実情に沿った、市街地調整区域の開発許可基準を各市町と共検討すか。

答 学識経験者と連携し、各市町の立地適正化計画策定を支援する地域の実情に沿った、市街地調整区域の開発許可基準を各市町と共検討すか。

代表質問 大規模災害に備え、効率的な物流体制の確保を喜多宏忠

徳島県議会自由民主党

意図ある担い手確保のため漁業法人の設立など、新規就業者の受け皿づくりと定着に向けた支援が重要だが、今後どのような取り組みがなされるか。

答 漁業アカデミーを核とした新規就業者の育成確保、初期投資の費用面でのサポート等により、定着に向けた支援を行う。また、経営モデルを作成し、漁業法人設立に向けて動きを加速する。

問 三次救急医療機関に多くの患者が搬送されており、これが持続可能なか懸念など、今後限られた医療資源の中で、最大限の救急医療を提供するため、今後どう取り組むか。

答 救急患者搬送「リユース」の電子カルテなどを活用し、救急医療を支援する。また、各市町村を連携し、体系的な体制の構築に取り組む。

代表質問 持続可能な水産物のために意欲ある漁業人材の育成確保を中山俊雄

徳島県議会自由民主党

市町村に対し、ZEBに係る補助制度の周知を図る。市町村における気候変動対策への意識を、高いものとし、県民や事業者を連携して取り組む。

問 高齢者等の社会的孤立や買い物・物・サービス等の新たな困難に現行の補助制度は対応できているか、地域のつながりを再構築し、課題を克服する地域共生社会の実現に向け先駆的な取り組みを、関係者との協働を図る。

問 犬猫の殺処分ゼロを実現するには、保護体制の整備や譲渡先の拡大を図ることが不可欠。県は民間愛護団体に対し、強力な育成支援策を講ずるべきか。

答 本年度内に竣工予定の譲渡施設を収容するほか、動物保護団体等の活動拠点としての活用を図る。また、ボランティア団体による地域支援を支援する。

代表質問 100の積極的な活用により地域の活性化を図るべき原井敬

徳島県議会自由民主党

少子高齢化や過疎化が進む人口減少時代、ZEBの最先端技術を活用する企業、ZEBの最先端技術を活用する企業、ZEBの最先端技術を活用する企業。

問 徳島阿波おどり空港の国際線定期便就航が推進し、航空機定期便就航の意向を表明している。港からの国際線の就航は本県にとりどのような効果をもたらすと考えるか。

答 外国人観光客の増加により、県内経済への波及効果や世界の空路である香港国際空港との直結による新たなビジネスチャンスの創出が期待される。

代表質問 次世代エコカーについて今後の在り方は元木章生

徳島県議会自由民主党

電気自動車や燃料電池自動車などのいわゆる次世代エコカーといわれる環境負荷の小さい車の在り方について、どう考え今後のように取り組むか。

答 地球規模での脱炭素社会の実現に貢献していくため、次世代エコカーの普及を促進し、インフラ整備を含め十分な備えをしておく。

代表質問 子ども食育の支援など、子どもの貧困対策の推進を長池文武

徳島県議会自由民主党

経済的困難による、さまざまな不利で子どもの未来が閉ざされ、いわゆる子どもの貧困の実態を調査するとともに、子ども食育の推進と、子どもの貧困対策に積極的に取り組むか。

答 子ども食堂でのボランティア募集や助成金の紹介等の支援を行う。また、NPO法人や関係者を対象とした実態調査の結果を県庁に生かしていく。

代表質問 子どもの貧困対策の推進を長池文武

徳島県議会自由民主党

経済的困難による、さまざまな不利で子どもの未来が閉ざされ、いわゆる子どもの貧困の実態を調査するとともに、子ども食育の推進と、子どもの貧困対策に積極的に取り組むか。

答 子ども食堂でのボランティア募集や助成金の紹介等の支援を行う。また、NPO法人や関係者を対象とした実態調査の結果を県庁に生かしていく。

代表質問 県民目線に立った文化行政の推進を井川龍二

徳島県議会自由民主党

県音楽事業に関わる県外不信感の脱却は、本県文化行政に不信感を抱き、徳島県全体のイメージを損ねた。この事態を反省材料として、県民の声を傾けた文化行政に取り組むか。

答 今後の文化行政の在り方については、これまで以上に県民の声を聴き、受け止め、さまざまな角度から検討を重ね、十分な議論を踏まえて、施策に反映する。

代表質問 阿波尾鷲のブランド強化と海外展開への支援を重清佳之

徳島県議会自由民主党

制の構築を促進すか。

答 民間の特長を生かした移住支援は阿波尾鷲に極めて有効。全国への積極的な発信とともに県内各地にも積極的に移住者受け入れ体制の強化を図り、移住者の人口増加の促進を図りたい。

代表質問 大規模災害に備え、効率的な物流体制の確保を喜多宏忠

徳島県議会自由民主党

意図ある担い手確保のため漁業法人の設立など、新規就業者の受け皿づくりと定着に向けた支援が重要だが、今後どのような取り組みがなされるか。

答 漁業アカデミーを核とした新規就業者の育成確保、初期投資の費用面でのサポート等により、定着に向けた支援を行う。また、経営モデルを作成し、漁業法人設立に向けて動きを加速する。

代表質問 持続可能な水産物のために意欲ある漁業人材の育成確保を中山俊雄

徳島県議会自由民主党

市町村に対し、ZEBに係る補助制度の周知を図る。市町村における気候変動対策への意識を、高いものとし、県民や事業者を連携して取り組む。

問 高齢者等の社会的孤立や買い物・物・サービス等の新たな困難に現行の補助制度は対応できているか、地域のつながりを再構築し、課題を克服する地域共生社会の実現に向け先駆的な取り組みを、関係者との協働を図る。

代表質問 100の積極的な活用により地域の活性化を図るべき原井敬

徳島県議会自由民主党

少子高齢化や過疎化が進む人口減少時代、ZEBの最先端技術を活用する企業、ZEBの最先端技術を活用する企業、ZEBの最先端技術を活用する企業。

問 徳島阿波おどり空港の国際線定期便就航が推進し、航空機定期便就航の意向を表明している。港からの国際線の就航は本県にとりどのような効果をもたらすと考えるか。

答 外国人観光客の増加により、県内経済への波及効果や世界の空路である香港国際空港との直結による新たなビジネスチャンスの創出が期待される。

代表質問 次世代エコカーについて今後の在り方は元木章生

徳島県議会自由民主党

電気自動車や燃料電池自動車などのいわゆる次世代エコカーといわれる環境負荷の小さい車の在り方について、どう考え今後のように取り組むか。

答 地球規模での脱炭素社会の実現に貢献していくため、次世代エコカーの普及を促進し、インフラ整備を含め十分な備えをしておく。

代表質問 子ども食育の支援など、子どもの貧困対策の推進を長池文武

徳島県議会自由民主党

経済的困難による、さまざまな不利で子どもの未来が閉ざされ、いわゆる子どもの貧困の実態を調査するとともに、子ども食育の推進と、子どもの貧困対策に積極的に取り組むか。

答 子ども食堂でのボランティア募集や助成金の紹介等の支援を行う。また、NPO法人や関係者を対象とした実態調査の結果を県庁に生かしていく。

代表質問 県民目線に立った文化行政の推進を井川龍二

徳島県議会自由民主党

県音楽事業に関わる県外不信感の脱却は、本県文化行政に不信感を抱き、徳島県全体のイメージを損ねた。この事態を反省材料として、県民の声を傾けた文化行政に取り組むか。

答 今後の文化行政の在り方については、これまで以上に県民の声を聴き、受け止め、さまざまな角度から検討を重ね、十分な議論を踏まえて、施策に反映する。

代表質問 阿波尾鷲のブランド強化と海外展開への支援を重清佳之

徳島県議会自由民主党

制の構築を促進すか。

答 民間の特長を生かした移住支援は阿波尾鷲に極めて有効。全国への積極的な発信とともに県内各地にも積極的に移住者受け入れ体制の強化を図り、移住者の人口増加の促進を図りたい。

代表質問 大規模災害に備え、効率的な物流体制の確保を喜多宏忠

徳島県議会自由民主党

意図ある担い手確保のため漁業法人の設立など、新規就業者の受け皿づくりと定着に向けた支援が重要だが、今後どのような取り組みがなされるか。

答 漁業アカデミーを核とした新規就業者の育成確保、初期投資の費用面でのサポート等により、定着に向けた支援を行う。また、経営モデルを作成し、漁業法人設立に向けて動きを加速する。

代表質問 持続可能な水産物のために意欲ある漁業人材の育成確保を中山俊雄

徳島県議会自由民主党

市町村に対し、ZEBに係る補助制度の周知を図る。市町村における気候変動対策への意識を、高いものとし、県民や事業者を連携して取り組む。

問 高齢者等の社会的孤立や買い物・物・サービス等の新たな困難に現行の補助制度は対応できているか、地域のつながりを再構築し、課題を克服する地域共生社会の実現に向け先駆的な取り組みを、関係者との協働を図る。

代表質問 100の積極的な活用により地域の活性化を図るべき原井敬

徳島県議会自由民主党

少子高齢化や過疎化が進む人口減少時代、ZEBの最先端技術を活用する企業、ZEBの最先端技術を活用する企業、ZEBの最先端技術を活用する企業。

問 徳島阿波おどり空港の国際線定期便就航が推進し、航空機定期便就航の意向を表明している。港からの国際線の就航は本県にとりどのような効果をもたらすと考えるか。

答 外国人観光客の増加により、県内経済への波及効果や世界の空路である香港国際空港との直結による新たなビジネスチャンスの創出が期待される。

代表質問 阿波尾鷲のブランド強化と海外展開への支援を重清佳之

徳島県議会自由民主党

制の構築を促進すか。

答 民間の特長を生かした移住支援は阿波尾鷲に極めて有効。全国への積極的な発信とともに県内各地にも積極的に移住者受け入れ体制の強化を図り、移住者の人口増加の促進を図りたい。

代表質問 大規模災害に備え、効率的な物流体制の確保を喜多宏忠

徳島県議会自由民主党

意図ある担い手確保のため漁業法人の設立など、新規就業者の受け皿づくりと定着に向けた支援が重要だが、今後どのような取り組みがなされるか。

答 漁業アカデミーを核とした新規就業者の育成確保、初期投資の費用面でのサポート等により、定着に向けた支援を行う。また、経営モデルを作成し、漁業法人設立に向けて動きを加速する。

代表質問 持続可能な水産物のために意欲ある漁業人材の育成確保を中山俊雄

徳島県議会自由民主党

市町村に対し、ZEBに係る補助制度の周知を図る。市町村における気候変動対策への意識を、高いものとし、県民や事業者を連携して取り組む。

問 高齢者等の社会的孤立や買い物・物・サービス等の新たな困難に現行の補助制度は対応できているか、地域のつながりを再構築し、課題を克服する地域共生社会の実現に向け先駆的な取り組みを、関係者との協働を図る。

代表質問 100の積極的な活用により地域の活性化を図るべき原井敬

徳島県議会自由民主党

少子高齢化や過疎化が進む人口減少時代、ZEBの最先端技術を活用する企業、ZEBの最先端技術を活用する企業、ZEBの最先端技術を活用する企業。

問 徳島阿波おどり空港の国際線定期便就航が推進し、航空機定期便就航の意向を表明している。港からの国際線の就航は本県にとりどのような効果をもたらすと考えるか。

答 外国人観光客の増加により、県内経済への波及効果や世界の空路である香港国際空港との直結による新たなビジネスチャンスの創出が期待される。

代表質問 次世代エコカーについて今後の在り方は元木章生

徳島県議会自由民主党

電気自動車や燃料電池自動車などのいわゆる次世代エコカーといわれる環境負荷の小さい車の在り方について、どう考え今後のように取り組むか。

答 地球規模での脱炭素社会の実現に貢献していくため、次世代エコカーの普及を促進し、インフラ整備を含め十分な備えをしておく。

代表質問 子ども食育の支援など、子どもの貧困対策の推進を長池文武

徳島県議会自由民主党

経済的困難による、さまざまな不利で子どもの未来が閉ざされ、いわゆる子どもの貧困の実態を調査するとともに、子ども食育の推進と、子どもの貧困対策に積極的に取り組むか。

答 子ども食堂でのボランティア募集や助成金の紹介等の支援を行う。また、NPO法人や関係者を対象とした実態調査の結果を県庁に生かしていく。

代表質問 県民目線に立った文化行政の推進を井川龍二

徳島県議会自由民主党

県音楽事業に関わる県外不信感の脱却は、本県文化行政に不信感を抱き、徳島県全体のイメージを損ねた。この事態を反省材料として、県民の声を傾けた文化行政に取り組むか。

答 今後の文化行政の在り方については、これまで以上に県民の声を聴き、受け止め、さまざまな角度から検討を重ね、十分な議論を踏まえて、施策に反映する。

代表質問 阿波尾鷲のブランド強化と海外展開への支援を重清佳之

徳島県議会自由民主党

制の構築を促進すか。

答 民間の特長を生かした移住支援は阿波尾鷲に極めて有効。全国への積極的な発信とともに県内各地にも積極的に移住者受け入れ体制の強化を図り、移住者の人口増加の促進を図りたい。

代表質問 大規模災害に備え、効率的な物流体制の確保を喜多宏忠

徳島県議会自由民主党

意図ある担い手確保のため漁業法人の設立など、新規就業者の受け皿づくりと定着に向けた支援が重要だが、今後どのような取り組みがなされるか。

答 漁業アカデミーを核とした新規就業者の育成確保、初期投資の費用面でのサポート等により、定着に向けた支援を行う。また、経営モデルを作成し、漁業法人設立に向けて動きを加速する。

代表質問 持続可能な水産物のために意欲ある漁業人材の育成確保を中山俊雄

徳島県議会自由民主党

市町村に対し、ZEBに係る補助制度の周知を図る。市町村における気候変動対策への意識を、高いものとし、県民や事業者を連携して取り組む。

問 高齢者等の社会的孤立や買い物・物・サービス等の新たな困難に現行の補助制度は対応できているか、地域のつながりを再構築し、課題を克服する地域共生社会の実現に向け先駆的な取り組みを、関係者との協働を図る。

代表質問 100の積極的な活用により地域の活性化を図るべき原井敬

徳島県議会自由民主党

少子高齢化や過疎化が進む人口減少時代、ZEBの最先端技術を活用する企業、ZEBの最先端技術を活用する企業、ZEBの最先端技術を活用する企業。

問 徳島阿波おどり空港の国際線定期便就航が推進し、航空機定期便就航の意向を表明している。港からの国際線の就航は本県にとりどのような効果をもたらすと考えるか。

答 外国人観光客の増加により、県内経済への波及効果や世界の空路である香港国際空港との直結による新たなビジネスチャンスの創出が期待される。

9月定例会委員会の概要

- 総務委員会**では、警察職員の士気高揚、健全な財政運営、若者への選挙啓発、今後の文化行政の在り方などについて質疑及び提言がありました。また、基金の透明性の確保と適正な執行を県に申し入れました。
- 経済委員会**では、阿波ふどのPRとさらなる活用、なる金時のブランド戦略、外国人旅行客の国・地域に合わせた誘客、外部団体に設置された基金の状況などについて質疑及び提言がありました。
- 文教厚生委員会**では、児童生徒の確かな学力の育成、高等学校の寄宿舎・寮における食事、国民健康保険の制度改正、外部団体に設置された基金の状況などについて質疑及び提言がありました。
- 県土整備委員会**では、大規模地震対策特別措置法の見直しの動き、一般国道438号上八万バイパスの進捗状況、外部団体に設置された基金の状況などについて質疑及び提言がありました。

特別委員会

- 地方創生対策特別委員会**では、マリンピア沖洲のにぎわい創出に向けた具体的な取り組み、民泊事業の今後の進め方、県内大工技能者の現状と全国への売り込み策などについて質疑及び提言がありました。
- 次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会**では、待機児童の解消、子育て世代包括支援センターの設置促進、テレビ会議システムを活用した遠隔授業、不妊治療への助成などについて質疑及び提言がありました。
- 防災対策特別委員会**では、指定緊急避難場所の24時間使用や避難行動要支援者への対策、大規模地震対策特別措置法の見直しの動き、予算の確実な財源確保と早期執行などについて質疑及び提言がありました。
- 環境対策特別委員会**では、水銀に関する水俣条約の趣旨や水銀排出施設の状態、老朽空き家への対応策、自然エネルギーの普及に向けた収益納付型補助制度の創設などについて質疑及び提言がありました。